

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	ものづくり基盤整備強化事業	コード	11204
-------	---------------	-----	-------

2 担当部課	部等 経済部	課等 工業振興課	作成者 真田 健
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政 策	基幹産業の振興	施 策	工業の振興
		予算科目	ものづくり基盤技術強化事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市内企業が、最先端技術や経営ノウハウを自社のものとして取り入れられるようにする。		
目的	対象者	市内企業	
	意 図	経営力の向上	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>最先端の技術等、中小企業向けの講座等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産技術基礎講座を開催した。（実施回数：5回、延131人） ・生産管理総合講座を開催した。（実施回数：5回、延57人） ・クリーンエネルギー研究会を開催した。（実施回数：6回、延67人） ・新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業補助金（交付件数：10件、交付金額：8,282,000円） ・起業セミナー（参加者：50名） ・事業承継セミナー（参加者：25名） 		
前年度の課題への対応	前年受講された企業からのアンケートや経済状況を踏まえ、内容を選定し、各関係機関から情報収集を行い、市内企業が学ぶべき技術内容を見極め、それに応じた講師（大学関係者、中小企業診断士）とも打合せを行い、市内企業ニーズにあった講座開催に努めた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
	区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	開催数				単位 回
	実績値	17	10	16	
	*指標の説明	講座等の開催数			
② 成果指標（指標名）	修了者数				単位 人
	目標値	547	211	165	255
	実績値	211	165	255	
	達成度	38.6%	78.2%	154.5%	
	*指標の説明	生産技術基礎講座の修了者数			
	*目標値の設定方法の説明	講座等の定員数			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	19,948,496	12,591,294	8,950,881	14,854,000
経常経費	19,948,496	12,591,294	8,950,881	14,246,200
臨時的経費	0	0	0	607,800
* 臨時的経費の説明	3Dプリンター利用促進講座の経費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
正規職員の人数(人)	0.75	0.75	0.75	0.75
③ 合計コスト(①+②)	25,948,496	18,591,294	14,950,881	20,854,000
前年度比		71.6%	80.4%	139.5%
財源	25,725,226	18,473,294	14,839,881	20,711,500
一般財源				
内訳	223,270	118,000	111,000	142,500
特定財源				
* 特定財源の説明	受講料収入			
④ 活動一単位あたりコスト	1,526,382	1,859,129	934,430	
前年度比		121.8%	50.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業補助金	件数	16	12	10	13
	金額	18,953,000	11,843,000	8,282,000	13,700,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	18,953,000	11,843,000	8,282,000	13,700,000
	割合	95.01%	94.06%	92.53%	92.23%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比	154.5%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度	154.5%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 海外市場、国内の動向の情報収集に努め、常に市内企業の状況を把握し、時宜にあった講座等を開催することが課題。また、最近ものづくりのツールとなっている3Dプリンターの活用の研究を行い、講座の内容を見直す必要がある。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 企業訪問等による情報収集の強化 他の支援機関や自治体との共催の検討	
改善方法		
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---